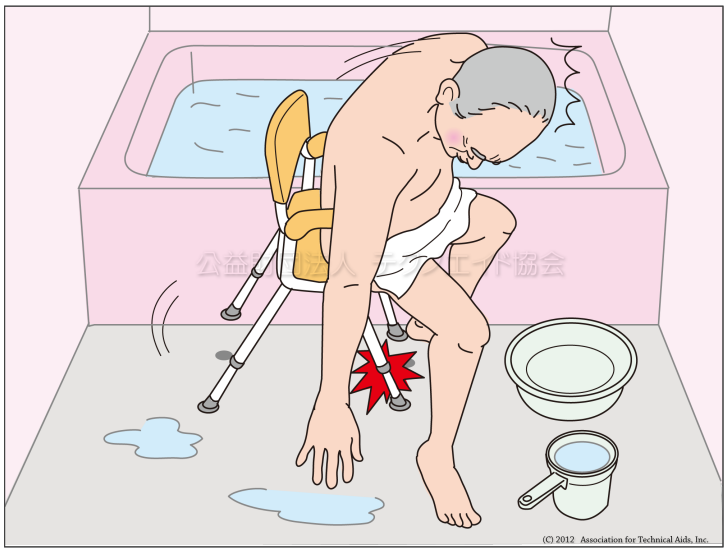
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：270
脚の高さが違っている状態で座ったため、転倒しそうになる

場面の説明

入浴用いすの脚が１箇所だけ長さが違っていたため、腰掛けた途端に傾いて転倒しそうになった



利用シーン	入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

介助者が脚の長さを調整する際に、１本だけ短く調整してしまったことや、調節機構の経年劣化や水垢などの汚れでしっかりと固定されない状態で座ってしまったこと等が原因として考えられます。調整後の確認が大切なことはもちろんですが、長期間使用している製品では、定期的な点検や清掃を行い、使用に耐えない劣化がある場合には買い替えることも必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：あわてていて調節後の確認をしていなかった
モノ：長さの調節の際、目安となるようなメモリが付いていなかった
モノ：調節機構に水垢汚れがあり、しっかりと固定できない状態であった
管理：脚の調節機構を点検確認していなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.